

平成23年度

平成24年1月11日

富山小学校だより



No. 17

新しい年を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

皆様におかれましては、明るく希望にあふれた新年をお迎えることと存じます。本年がよき年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、小学校におきましては、冬休み中、子ども達が事故もなく楽しく過ごせ、3学期がスタートできたことを嬉しく思っています。

3学期は、本当に短い気がします。一日一日を大切にして、6年生は中学校入学へむけて、1年生から5年生は進級へむけて頑張ってもらいたいです。新年は、新たな気持ちで様々なことにチャレンジしていく絶好のチャンスだと思います。子ども達の頑張りに対する応援をよろしくお願いいたします。

新年を迎え、私達職員も、より良い富山の子を育てるため、決意を新たにしています。皆様方のますますのご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



天に昇る龍のように

今年は辰年、天に昇る龍のような上昇の年であってほしいと願っております。

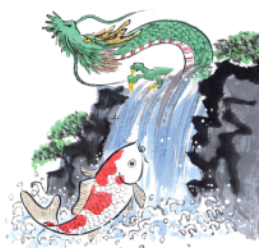
天に向かって昇ることは、希望や夢に向かって頑張ることにつながり、龍のような勇気を育て、強い心と体をめざして自分を鍛えるのに、今年の辰年はぴったりであると思います。目的をもって一生懸命に頑張れば、そして、明るく前向きに進んでいけば、飛躍の年にすることができるのではないかと思います。

子ども達に、今年の自分の目標が叶えられるように頑張ってもらいたいという願いをもって、1月10日(火)の始業式で、次のような話をしました。

【3学期始業式での校長の話】

(略) 去年は「うさぎ年」でしたが、今年は「辰年」で、これが「たつ」の絵(右の「辰の絵」提示)です。

このように、年ごとに動物の名前がつけられています。



動物の名前は全部で12だけ使われています。これを「十二支」と言います。

「たつ」は漢字で「辰」と書きますが、この字だけでなく、「竜」という字や「龍」という字も使われています。この二つの字も「たつ」と読みますが、どちらも「りゅう」とも読みます。

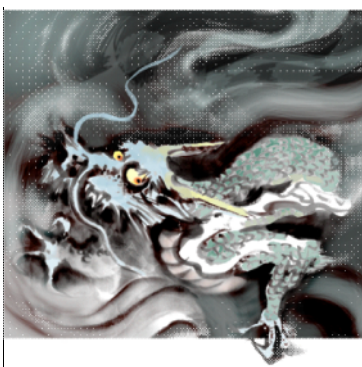


みんなは、昔話で「たつ」とか「りゅう」という名前を聞いたことがあると思います。また、「たつ」や「りゅう」を「ドラゴン」と呼ぶ国があります。この「ドラゴン」という名前は、みんなが良く聞く言葉だと思います。

十二支には、「たつ」を除いて、後は、今年の「うさぎ」のように、本当にいる動物が当てはめられています。「たつ」だけが昔から伝わっているお話に出てくる動物で、本当にいる動物ではありません。ただし、海に「タツノオトシゴ」(下の「タツノオトシゴ」の写真提示)という生き物が実際にいますが、これはお話に出てくる「たつ」や「りゅう」ではなくて、「たつ」の形に似た海の小さな魚です。

私は、子どもの時、「タツノオトシゴ」が大人になったら、「たつ」になると考えていたことがありましたが、「タツノオトシゴ」は「たつ」ではありません。「タツノオトシゴ」は、「たつ」の形に似ている小さな生き物です。

みんなは、「たつ」については、絵本や昔話の本などで知っているかと思いますが、「たつ」は、巨大なトカゲに似た姿をしていて、2本の角やひげと4本の足があり、空を自由に飛び回り、そして、雲を呼び、雨を降らせることのできる生き物であると言われています。また、「たつ」は天に向かって昇るとも言われています。



このように、「たつ」は強くて勇ましい生き物ですので、みんなが「強い心と体」をめざして自分を鍛えるのに、今年の「辰年」はぴったりの年であると思います。

また、「たつ」は、「立つ」という字にもつながると言われています。そして、「たつ」という言葉は、難しい言葉で、「自立」という言葉にも通じると言います。「自立」の「自」という字は、「自分」の「自」という字ですので、「自立」は「自分で立つ」ということです。「自立」は、「人の力を借りなくとも、自分の力でいろいろなことができる」というような意味です。

今年は「辰年」、「たつ」が天に向かって昇っていくように、みんながどんどん伸びていく年だと思います。自分の「めあて」や「目標」が叶えられるように一生懸命に頑張ってください。

私も、今年を一生懸命に頑張りたいと思います。

今年、子ども達が「たつ」のような勢いで活躍していくことを期待しています。自分の可能性を信じて、大きく成長して行ってほしいです。